

## 朝の礼拝

聖書 コリントの信徒への手紙 I 13章4-7節（新約聖書317頁）

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

### 信じ、望み、耐える

27年前の今日、阪神淡路大震災が起きました。その後も国内外で火山噴火、台風、豪雨、地震、津波、原発事故など自然災害や事故が続いています。ボランティアの活動も心温まり励まされることですが、残念ながら家族、家、土地、仕事を失い、離散し、心ない誹謗中傷や風評被害を受けている人が少なくありません。

今、世界で広がり続ける感染症でも医療従事者の方々、物流配送、ゴミ収集をされる方々などエッセンシャルワーカーへの誹謗中傷が起きています。またアメリカではアジア系住民へのヘイトクライムが広がっています。その多くは貧困、感染症に苦しむ人々からの暴力です。

このように自然災害、事故、紛争や戦争、感染症が起きると、互いに慰め励まし支え合う姿と共に、残念ながら病気、失業、貧困によって格差、分断、対立がさらに広がり明らかになります。

実は今日、1月の第3月曜日は、アメリカでは「キング牧師記念日」です。1960年代、黒人差別撤廃のため公民権運動の先頭に立った牧師さんです。彼の運動は「非暴力主義」でした。有名な首都ワシントンでの“ I HAVE A DREAM ”という演説があります。彼は黒人の解放は白人の解放であり、いつか自分たちの子どもたちが一緒に遊ぶ姿を夢見していると演説しました。

人種、宗教、歴史や文化の違いは、人が共に生きることに多くの困難を与えます。そして生き物と共に自然の中で生きることには未知なことが数え切れないほどあります。まして災害、病気が襲ってくれば不安と孤立が広がります。

パウロが愛は忍耐強い、情け深い、ねたまないと続け、すべてを忍び、信じ、望み、耐えると言ったのは決した大げさなことではありません。キング牧師にとっても当然のことだったのです。パンデミックにある私たちも愛を信じ、望み、耐える時を恵みとして与えられているのです。

しばらく黙祷しましょう。

すべての人びとの救い主である主よ、あなたはすべての人がみな正義と公平を保ち、互いに兄弟姉妹の愛のうちに仲よく生きることが望んでおられます。どうか人びとが互いに助け合い、ことに悩み、苦しみ、孤独のうちにある人びとが、必要な慰めと保護を受けて、この社会にみ心が行われるようにしてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン